

北広島市 2023年第4回定例市議会（11月29日～12月20日） 12月11日 一般質問 佐々木 百合香

2022年度北広島市各会計歳出決算、水道事業会計剰余金処分及び決算、下水道事業会計剰余金処分及び決算に関する議案3件は、総意をもつて原案のとおり可決及び認定。小学校及び中学校の猛暑対策のためのパーテブルクーラー設置に要する経費、子ども医療費及び受診件数増に伴う扶助費の増、消防団装備品の購入に要する経費、市営住宅空き室の修繕に要する経費、学校をはじめとする各施設の光熱水費及び燃料費の増に伴う物価高騰対策費、住民税非課税世帯などに対する給付金など、11億768万円の補正予算を可決。一般会計予算是合計で332億168万円となりました。固定資産評価審査委員会委員の選任の同意案1件、9月の大雨による道路及び河川の災害復旧等に要する経費の専決処分、北広島市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例についてを含む議案3件を可決。「認知症との共生社会の実現を求める意見書」を含む意見書3件を可決。市民ネットワークが筆頭発議者となつた「パレスチナとイスラエルの市民や子どもたちへのすべての暴力行為を非難し、即時に停戦を求める決議案」は、総意をもつて可決しました。

質問	答弁
1. 水環境を守る取り組みについて	<p>1.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石けんの利用促進については、環境負荷の少ない洗剤等の使用が望ましいと認識しているところであり、北広島市環境配慮物品購入指針において、国の方針に合わせ、資源有効利用の観点から、废油または動植物油脂を原料とした手洗い石けんの使用など、環境配慮型製品等の調達に努めている。 ・手洗い用洗剤を使っている保育園や小中学校を含む公共施設80施設のうち、石けんを使用している施設は17施設、無香料の手洗い用洗剤を使用している施設は40施設である。小中学校の手洗い場や保健室等では無添加石けんの使用割合が高いものの、複数の学校において複合石けんや合成洗剤を使用しているところである。 ・香料を含む石けんを使用している施設は、防災センター、クリーンセンター、アカア・バイオスマスセンターの3施設である。 ・防災食育センターにおいては、引き続き、安全・安心な学校給食の提供を一番に考え、感染や食中毒の予防に効果的かつ効率的な洗剤を使用していただきたい。令和2年3月に策定した「まちづくり実施計画」において洗浄機を選定しており、清掃作業等についても、これまでと同様に学校給食衛生管理基準に定めるマニュアルに従ってまいりたい。 ・手洗いについては、現在学校給食センター及び中学校共同調理場のボンブタイプの容器には、石けん成分に殺菌成分が配合された薬用ハンドソープとして複合石けんを使用している。また、センサーによります非接触式の手洗い器については、メーカー指定の手洗い用石けん液として、殺菌力の強い合成洗剤を使用している。 ・防災食育センターにおいても、引き続き、石けんを含め情報を収集しながら、使用状況に応じた洗浄剤の使用について考えてまいりたい。 <p>2.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校における洗浄剤の使用については、合成洗剤を使用するとときは、児童生徒ではなく、教職員が容量、用法を守りながら使用をしている。 ・今年度内に事業者への周知用資料の作成や要綱等の整備を行い、対象となる事業所へ周知を図ってまいりたい。料金設定は、現在、地下水を利用している事業所において、一定水量以上を水道水に切り替えた場合にその水量の使用料金を2分の1にするものである。 ・PFASのうちPFOS及びPFOAについては、それぞれ2010年と2021年に製造・輸入が原則禁止をされ、2020年に合計値が水質管理目標設定項目に指定された。石狩東部広域水道企業団において、原水及び淨水の検査を年1回実施し、いずれも暫定目標値である1リットル当たり50ナノグラムを下回る結果だった。 ・ボールパークの開業や駅西口の整備などにより、給水収益の増加が見込まれるが、ボールパークが稼働し周辺開発も進む今の中長期は、経営体力をつけるのと認識しているが、現在の調査状況を伺う ・上下水道事業は、長期的に見ると赤字になる見通しだが、ボールパークが稼働し周辺開発も進む今の中長期は、経営体力をつけるのに最適な期間だと考える。今後数年で取り組む経営強化の内容について伺う。 ・ボールパークの開業や駅西口の整備などにより、給水収益の増加が見込まれるが、ボールパークが稼働し周辺開発も進む今の中長期は、経営体力をつけるのと認識しているが、現在の調査状況を伺う ・ボールパークの開業や駅西口の整備などにより、給水収益の増加が見込まれるが、ボールパークが稼働し周辺開発も進む今の中長期は、経営体力をつけるのと認識しているが、現在の調査状況を伺う
2. 上下水道について	<ul style="list-style-type: none"> ・上水道利用を促す取り組みについて、大口地下水利用者の上下水道利用を促すための特例的料金制度の導入について答申が出された。今後のスケジュールや料金設定について伺う。 ・1940年代から幅広く産業に利用され、難分解性で「永遠の化学物質」と呼ばれるPFASの環境汚染、水源汚染が報じられている。安心して水道を利用するため、水源のPFAS調査が行われていると認識しているが、現在の調査状況を伺う ・上下水道事業は、長期的に見ると赤字になる見通しだが、ボールパークが稼働し周辺開発も進む今の中長期は、経営体力をつけるのに最適な期間だと考える。今後数年で取り組む経営強化の内容について伺う。 ・ボールパークの開業や駅西口の整備などにより、給水収益の増加が見込まれるが、ボールパークが稼働し周辺開発も進む今の中長期は、経営体力をつけるのと認識しているが、現在の調査状況を伺う ・ボールパークの開業や駅西口の整備などにより、給水収益の増加が見込まれるが、ボールパークが稼働し周辺開発も進む今の中長期は、経営体力をつけるのと認識しているが、現在の調査状況を伺う